

病原体別予防策に関する相談

相談２：ノロウイルスの消毒について

(相談内容)

ノロウイルス感染症の流行時期は、全ての環境を次亜塩素酸ナトリウムで拭くべきでしょうか。

(回答)

ノロウイルス胃腸炎の流行時期であっても、全ての環境を次亜塩素酸ナトリウムで拭いてはいけません。ノロウイルスで汚染されたと考えられる環境（ノロウイルス胃腸炎患者の病室や嘔吐物・下痢便で汚染された環境）に対して消毒を行います。

ノロウイルスは、患者の糞便 1 g あたり 100 万個～10 億個、嘔吐物 1 g あたり 100 万個含まれているといわれています。環境に付着した場合、長時間安定して存在し、患者周囲を介した感染も考えられるので、多くの人々が接触する可能性がある部分（高頻度接触部位）は、ノロウイルスに効果のある消毒薬による環境整備が必要です。高頻度接触表面の消毒には、0.1%次亜塩素酸ナトリウムでの清拭を行います。糞便や吐物などで汚染のある場合は、汚染物を除去後 0.1%次亜塩素酸ナトリウムで清拭清掃を行ってください。次亜塩素酸ナトリウムは、塩素ガスによる粘膜刺激がありますので換気を十分に行うよう注意してください。

次亜塩素酸ナトリウムは金属腐食性があるため、金属部分に用いる場合は消毒後に水拭きを行ってください。ノロウイルスに対するエタノールの効果はやや弱いので、次亜塩素酸ナトリウムで消毒できない製品などは、消毒用エタノールによる２度拭きで念入りな清拭消毒が望ましいです。その他、次亜塩素酸ナトリウムの代用として、ペルオキソ—硫酸水素カリウム（ルビスタ[®]）があります。

参考文献：

- 1) CDC（米国疾病対策センター）、医療施設における消毒と滅菌のためのガイドライン 2008.
- 2) 小林寛伊編、新版増補版消毒と滅菌のガイドライン、へるす出版、2015.